

2015年度 冬季企画展

第八代学長

住田智見

すみたちけん

ゆかり の品々



大谷大学第八代学長住田智見
…明治・大正・昭和という
大きな変化の時代にあつて、
多くの人々から慕われた篤実
な仏教者であり、学者、教育
者であつた。

2016年
1月6日(水) ~
2月13日(土)

休館日 / 日・月曜日、2月11日(木・祝)
開館時間 / 午前10時~午後5時
(入館は閉館の30分前まで)
観覧料 / 無料

大谷大学博物館
Otani University Museum

夫能者くまふ入常人に年

住田智見

住田智見

第八代学長

住田智見

すみたちけん

ゆかりの品々

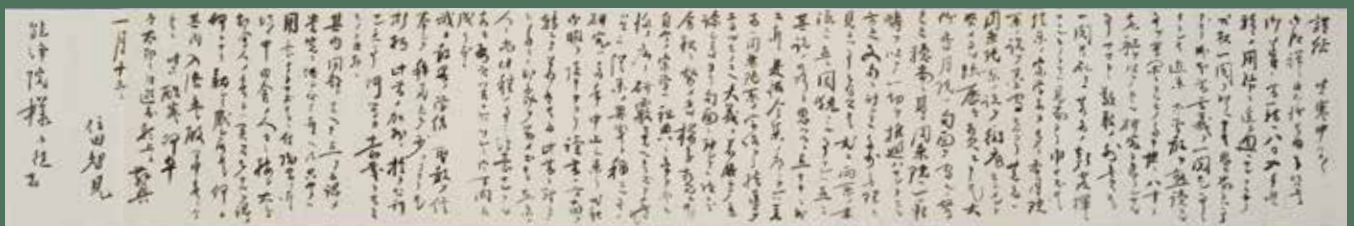
本年度の冬季企画展では、本学の第八代学長住田智見（一八六八〜一九三八）ゆかりの品々をとりあげます。明治元年（一八六八）、名古屋市の真宗大谷派祐誓寺に誕生した智見は、幼いころから学究の道を歩み、真宗大学（現・大谷大学）で仏教学（真宗学）を学んだ後、名古屋の真宗尾張中学で教鞭をとることとなります。真宗尾張中学は、東本願寺名古屋御坊の学問所「閼蔵長屋」を前身とし、明治の学制のなかで近代教育の場として再出発した学校でした。

智見は、尾張中学の校長をつとめた後、真宗大学教授を経て、名古屋で「私立真宗専門学校」（現・同朋大学）を開く活動の中心的役割を果たしました。そして、昭和十一年（一九三六）には、大谷大学の第八代学長に就任することとなります。近代的な眼差しだけではなく、近世以前の仏教にも造詣の深かった智見は、数多くの仏教典籍を収集して研究に取り組みました。明治・大正・昭和という大きな変化の時代にあつて、多くの人々から慕われた篤実な仏教者であり、学者、教育者でした。

本展は、I住田智見、II住田智見の学風、III住田智見のコレクションという三つのテーマにかけて、その人柄や学風、そして貴重なコレクションを紹介いたします。



「五」明治四十二年卒業生写真（前から2列目右から4番目、住田智見）
「左」安居講本
「下」住田智見書簡（天谷壁紙宛）



来年度の展覧会〈予定〉

※都合により変更する場合があります。

春季企画展

大谷大学のあゆみ 赤レンガの学舎

2016年4月1日(金)～5月21日(土)

夏季企画展

大谷大学所蔵の考古資料 (仮)

2016年6月14日(火)～7月30日(土)

京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto

大谷大学博物館

Otani University Museum

〒603-8143 京都市北区小山上総町

Tel.075-411-8483 Fax.075-411-8146

http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/

- 地下鉄烏丸線「北大路」下車、6番出口すぐ
- 市バス「北大路バスターミナル」、「下総町」、「北大路駅前」下車
- 駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮ください。ただし、身障者用の車の場合は事前にご連絡ください。

